

腐敗防止の取り組みにおける市民社会スペースの確保と人権尊重を

2025/08/22

国連人権高等弁務官事務所

国連専門家らは本日、国連腐敗防止条約（UNCAC）* の締約国に対し、国内また UNCAC に関するフォーラムや審査において、腐敗防止の取り組みへの市民社会の意義ある参加を確保するよう求めた。「腐敗は社会の安定と安全を脅かし、公的機関への市民の信頼を損なう。これはガバナンスの問題だけでなく、さまざまな人権の実現への直接的で構造的な脅威となる」。「腐敗は気候や環境正義、開発、教育、健康、水と衛生、司法の独立を妨げ、人権擁護家、ジャーナリスト、先住民族、女性・女兒、周縁化されたグループの保護を損なう」。腐敗防止の取り組みから市民社会の声や活動を排除あるいは制限すれば、その取り組みの正当性や効果は著しく損なわれると警告した。また、非政府アクターの積極的な参加を求めた UNCAC 第 13 条に反して、UNCAC の国別審査への市民社会の参加が依然として任意であることに留意した。こうした排除や審査メカニズムにおける透明性に関する不十分な規定は、国際基準に違反し、条約そのものを損なうと強調した。締約国に対し、今年 12 月にドーハで行われる[第 11 回締約国会議](#)で、UNCAC の第二段階の実施審査のメカニズムの透明性を高め、より効果的で包括的なものにするよう求めた。

*国連腐敗防止条約（[英語](#) / [日本語](#)）

【記事全文】[UN experts urge UNCAC States Parties to safeguard civic space and uphold human rights in anti-corruption efforts](#)